

# Local Area News

## 創立50周年記念式典 高崎問屋街青年経営者研究会

6月14日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において、高崎卸商社街(協)に所属する青年経営者にて組織される高崎問屋街青年経営者研究会の創立50周年記念式典が開催された。

式典では、50周年委員長・速水幹雄氏の開会のことばの後、会長・茂木克仁氏が挨拶、その後来賓祝辞が行われた。続いて歴代会長に対する表彰を行い、表彰者代表として第41代会長・吉田健一郎氏が謝辞。副会長・吉本隆氏が閉会のことばを述べ、式典を終了した。



多くの会員、来賓が参加した記念式典

記念式典に続いて行われた懇親会では、開会挨拶の後、鏡開きが行われ、第6代会長・横山祐次氏の音頭により乾杯となった。



茂木会長、横山第6代会長、来賓による鏡開き

懇親会では、マグロ解体ショーが披露されるなど、終始和やかな雰囲気です。懇親が深められ、第30代会長・岡村武彦氏の閉会のことばをもって懇親会を終了した。



懇親会で行われたマグロ解体ショー

## 全国新酒鑑評会にて10銘柄が入賞 (金賞7銘柄、入賞3銘柄) 群馬県酒造(協)

6月17日、前橋市・群馬県庁において、日本酒の味や品質を競う全国新酒鑑評会(酒類総合研究所、



大澤知事に入賞を報告する各蔵元

日本酒造組合中央会共催)で入賞した蔵元の代表らが、大澤知事に入賞を報告した。

今回は、2018酒造年度(18年7月～19年6月)に製造された清酒が対象。18点が鑑評会に出品され、10点が入賞した。出品数に対する入賞割合は55・6%(全国平均48・5%)、金賞の割合は38・9%(同27・7%)に上った。

### 【金賞】

- ・赤城山(近藤酒造(株))
- ・貴娘(貴娘酒造(株))
- ・群馬泉(島岡酒造(株))
- ・清瞭(株町田酒造店)
- ・秘幻(浅間酒造(株))
- ・鳳凰聖徳(聖徳銘醸(株))
- ・水芭蕉(永井酒造(株))

### 【入賞】

- ・浅間山(浅間酒造(株))
- ・大盃(牧野酒造(株))
- ・船尾瀧(柴崎酒造(株))

なお、群馬県ではこれらの県産酒や県産食材を広く知ってもらうことを目的に、10月5日・6日に高崎市・ピエント高崎において「ぐんま酒と食の祭典2019 KANPAI! GUNMA」を開催する。

# LAW

## 実習生と信頼関係の構築に取り組む企業としてNHKより取材を受ける

(株)誠和製作所

館林機械金属工業(協) 館林金属工業団地(協) 所属

館林機械金属工業(協)・館林金属工業団地(協)の組合員である(株)誠和製作所(代表取締役・多田征訓氏)は、外国人技能実習生受入に関する取組みがNHKの夕方のニュース番組「ほっとぐんま640」にて放送された。

同社では、あるものを通じて実習生との信頼関係を築き、定着につなげようと模索している。現在5人のベトナム人が実習を行っており、慣れない国での生活に不安

を感じている実習生を和らげようと、多田社長は「交換日記」を取り入れている。

実習生は仕事や生活の悩みを相談することができる上、文章を書くことで日本語の勉強にもなる。多田社長としても、一人一人の個性や人柄を把握できるメリットがある。さらに漢字の学習帳を実習生に配り、多田社長自ら仕事の合間に添削を行うなど、コミュニケーションを増やし、悩みに丁寧に対応することで信頼関係を築こうとしている。



取材を受ける多田社長

この他、実習生手作りの食事に多田社長が招待される様子が放送されるなど、実習生との厚い信頼関係が構築できていることが分かる放送となっている。



工場内での取材の様子

## 2019年度通常総会 全国中小企業青年中央会

6月21日、和歌山市・ダイワロイネットホテル和歌山において、全国中小企業青年中央会2019年度通常総会が開催された。



全国から青年経営者が参加

群馬県中小企業団体青年協議会からは、諸田宏会長、横田裕正副会長、長島聰理事、中央会・今泉主事が参加した。

総会では、事業報告・収支決算、事業計画・予算などの議案すべて原案通り可決承認・決定され、総会終了後にはUBAサミットと称した協議会が行われ、「活発な組合事例を自県で活かすには」活動状況及び今後についてをテーマに活発な意見交換が行われた。

和歌山城散策を挟み懇親会が行われ、全国から集まった青年経営者が懇親を深めた。



多くの来賓も参加した懇親会

なお、2020年度通常総会は来年の6月12日、岡山市・ホテルグランヴィア岡山にて開催される予定となっている。





熱心に講師の説明を聞く受講者

**建設業における労務管理・働き方改革への対応**  
**伊勢崎管工設備(協)**

6月24日、伊勢崎市・組合事務所において「建設業における労務管理・働き方改革関連法について」をテーマに講習会を開催した。

講師は、アスミル社会保険労務士事務所・代表で特定社会保険労務士の櫻井好美氏。

櫻井氏は始めに、雇用と請負の違いについて解説。建設業特有の労働環境や習慣を踏まえながら、「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置」、「36協定書の提出」、「時間外労働の上限規制」、「年次有給休暇」、「働き方改革の進め方」などについてレジュメ、配布した資料を参照しながら詳細に説明を行った。



実務に参考となる資料も配布された

この中で、労働時間の適正な把握については、労働者の始業・終業時間の確認、記録が求められており、タイムカードなど客観的な記録を基礎として確認することが重要であるとの解説を行った。

## 第69回 前橋七夕まつり

前橋中心商店街協・立川町大通商店街振  
前橋中央通り商店街振・弁天通り商店街振

7月4日～7日、前橋中心商店街全域において、北関東最大級を誇り、半世紀以上にわたり実施されている「前橋七夕まつり」が開催された。



新元号「令和」の七夕飾り

「前橋七夕まつり」は、「初市まつり」、「前橋まつり」と共に「前橋三大大まつり」の1つに数えられているまつり。各商店・商店街や市内の事業所による工夫を凝らした七夕飾り、福祉施設の方々の手作り作品、市内保育所・保育園の子供達の手作りの竹飾り、露天商などが夜遅くまで街を賑わせた。



大がかりな作品も多数展示された



例年同様多くの見物客が訪れた

前橋中心商店街(協)、立川町大通商店街(振)、前橋中央通り商店街(振)、弁天通り商店街(振)それぞれの街区においても、様々な七夕飾りで彩られ、子供から大人まで多くの人の目を惹きつけていた。

なお、祭り初日には七夕飾りコンクールが行われ、約650本の七夕飾りが出来映えを競った。